

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	火災予防活動経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民、事業所	目的	住宅防火対策の推進及び各種事業所との協力による防火体制の確保。			
事業概要	町民等の防火思想の普及啓発を図るとともに、住宅用火災警報器の全戸設置や高齢者死傷事故防止対策の推進など、住宅防火対策や、町内の事業所や危険物施設に対する消防法令の遵守指導を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0001 火災予防活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4見込				
	直接事業費	105	50	246	154	
	概算人件費	1,744	2,085	1,511	1,511	
	トータルコスト	1,849	2,135	1,757	1,665	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.31人		1,511千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,511千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 住宅防火出前講座と事業所連携の防火講習開催数（回）	10	10	1	7	10
② 各種事業所担当者の防火研修派遣者数（人）	5	3	0	0	5

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	□	■	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	住宅防火出前講座の開催のほか、コロナ禍を踏まえて福祉部局と連携し、高齢者向けの住宅防火に関するチラシの配布を行った。今後も関係団体等と連携する必要がある。※消防学校での研修会はコロナにて中止。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	消防職員教育推進事業（一般経費）			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防の専門的知識と技術を習得した職員を効率的に配置するために教育派遣及び各種資機材取扱い資格の取得に関する計画を元にした教育を行う。			
事業概要	職員の諸手当、旅費、負担金その他被服等を管理し、円滑な業務運営を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0003 一般経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	463		488		583
	概算人件費	1,717		771		792
	トータルコスト	2,180		1,259		1,375
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	90		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.17人		792千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			792千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 計画による教育・資格取得者数（人）	8	7	5	9	13
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	消防職員教育計画に基づき研修派遣（消防学校等専科教育）を実施することで、職員の専門的な知識技術の獲得による消防力の向上と同時に町民へのサービス向上を目指す。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	応急手当普及活動経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・事業所	目的	町民や事業関係者に応急手当の普及啓発活動を図り、正しい応急手当や救命処置の正しい知識や技術を習得させる。			
事業概要	町民に講習を実施するとともに、小中学生への普及による応急手当講習受講者の底辺拡大を目指す。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0004 応急手当普及活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	115	28	136	137	
	概算人件費	1,184	1,100	757	757	
	トータルコスト	1,299	1,128	893	894	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.19人		757千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			757千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 小中学生の応急手当講習等の受講者数（人）	200	205	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	250
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	新型コロナウイルス感染症の影響により講習は未開催。但し、感染防止策の徹底を図るための検証（模擬講習）の実施と短時間コースに係る要綱を制定し、新たな形態で開催を予定している。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	警防活動経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	●
事業対象	職員、事業所	目的	消防活動に必要な組織運用規定の運用と訓練設備の整備、事業所との連携を図り大規模災害や特殊災害等への対応強化を図る。			
事業概要	消防活動に必要な施設や設備の保守・維持の管理を充実して災害に備える。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0005 警防活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	485		507		3,694
	概算人件費	1,259		2,428		1,759
	トータルコスト	1,744		2,935		5,453
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.42人		1,759千円		
	再任用職員			千円		
	会計年度任用職員			千円		
	その他			千円		
	合計			1,759千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画
① 消防組織計画の改訂	-	改訂	運用	運用	運用
② 事業所との資機材供給や活動に関する協定締結数	0	0	1	1	2
③ 津波避難誘導活動マニュアルの策定と運用	-	一部運用	一部運用	一部運用	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	消防活動に必要な規定を適切に運用しており、災害対応能力の向上のため鉄道会社との連携訓練を実施した。資機材提供等が可能な民間業者との協定締結に向けた事務調整を継続実施している。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	職員	目的	緊急消防援助隊における活動維持と受援時の活動を円滑に行う。			
事業概要	国内で発生した大規模災害等に際して出動要請があった場合、当町が緊急消防援助隊として被災地に出動し、活動するために必要な経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	0007 緊急消防援助隊活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
直接事業費		27	89	98	294	
概算人件費		726	2,288	849	849	
トータルコスト		753	2,377	947	1,143	
国庫/県支出金		0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.17人		849千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			849千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 消防受援訓練実施回数（回）	1	0	0（計画改定）	0	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 消防受援訓練については町総合防災訓練と同時に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。令和2年度に策定した計画についての検証を継続する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	救急救助活動経費				所管課	消防署
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民、職員、事業所	目的	救急全般及び救助における安定した業務及び充実強化を図る。			
事業概要	各種災害に対する適切な救急救助活動のため、資機材の整備・メンテナンスを行うとともに、局所的集中豪雨及び震災対応資機材の充実強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0008 救急救助活動経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	6,057		21,292		8,489
	概算人件費	2,971		5,400		5,719
	トータルコスト	9,028		26,692		14,208
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	1.43人		5,719千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			5,719千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 救急体制確保のために連携する高齢者福祉施設数（施設）	1	1	0	0	1
② 破壊家屋救助資機材、水難救助資機材の整備数	4	4	1	1	1
③ 救助マニュアルの整備数	3	10	60	0（検証）	検証

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	救急救命士の実習教育により知識・技術の向上、挿管認定1人増。心電図伝送システムの構築により充実強化が図れる。また、関係機関との救助実践訓練により連携強化。コロナ禍により情報共有が希薄。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	消防車両管理経費			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	車両及び装備品の法令点検や修繕を行い消防業務の維持を図る。			
事業概要	各種災害に対して適切な消防活動を確保するため、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理し、消防・救急体制の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0009 消防車両管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	5,946		3,984		3,618
	概算人件費	2,494		2,777		2,252
	トータルコスト	8,440		6,761		5,870
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.56人		2,252千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,252千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	□	■	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	担当職員による日常点検。法定点検、車検整備は適切に管理され実施。災害対応に影響する緊急修繕は迅速に対応。日々の点検により必要な予算は次年度に計上され、消防車両の維持管理が図られている。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	消防・救急車両更新事業			所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	最新の車両・資機材の導入して機能強化を図り、多様化する消防救急需要に対応する。			
事業概要	消防力を維持するために計画的に車両更新を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0010 高規格救急自動車購入事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	33,506	0	0	0	97,826
	概算人件費	792	2,466	2,155	2,155	2,155
	トータルコスト	34,298	2,466	2,155	2,155	99,981
	国庫/県支出金	23,278	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	32,500
R 3 概算人件費	正規職員	0.51 人		2,155 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,155 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 車両更新整備台数（台）	1	1	0	0	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	車両の適正な維持管理と機能向上を目的とした「消防車両等更新計画」に基づき更新整備に努め、限られた予算で最大限対応能力が発揮できるように艤装関係等研究、県内消防本部の視察を実施。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	消防団運営経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団・事業所	目的	消防団員として長期間活躍できる環境整備と昼間災害や大規模災害時の活動をサポートする機能別消防団員制度を確立する。			
事業概要	災害に備え、条例及び規則に定める消防団を運営管理するための経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0001 消防団運営経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	17,601	15,461	14,932	25,908	
	概算人件費	493	916	1,339	1,339	
	トータルコスト	18,094	16,377	16,271	27,247	
	国庫/県支出金	70	120	0	0	
	その他	2,025	3,712	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.27人		1,339千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,339千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 団員確保に関する各制度の実績数	1	1	2	2	3
② 機能別消防団員制度の検討と運用	-	検討	検討	検討	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	消防団員数の高い充足率を目指し消防団員の処遇改善（報酬増額・活動環境整備等）と機能別消防団員制度の必要な例規改正を行った。今後も消防団の活動や環境についての検討を継続する必要がある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	分団消防車両管理経費			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団車両の維持管理と幅広い災害へ対応するために車両及び資機材の一律配備を見直し再整備を検討する。			
事業概要	消防団車両の整備及び装備品の強化を図り、出動体制の万全を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0002 分団消防車両管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	1,676	1,116	1,984	1,351	
	概算人件費	724	1,431	544	544	
	トータルコスト	2,400	2,547	2,528	1,895	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.13人		544千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			544千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 車両・資機材の再整備数	0	1	1	1	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	令和3年度中に消防庁より夜間活動用資機材等が無償貸与され活用している。車両更新計画により車両及び資機材等の更新を実施して、多様化する災害に幅広く対応できる消防力を維持に努める。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	分団施設維持管理経費 ※			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団詰所の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防団の活動拠点である分団詰所を適切に管理し、消防団員の活動環境の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	02	大事業 0003 分団施設維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	745		843		1,516
	概算人件費	459		427		453
	トータルコスト	1,204		1,270		1,969
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	1		3		0
						3
R3概算人件費	正規職員	0.1人		453千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			453千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	□	□	■	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	消防団が安全に活動できる詰所の更新や改修等を各種計画に準じて実施する。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	消防庁舎維持管理経費 ※			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防庁舎の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0002 消防庁舎維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	6,649	9,619	7,433	23,419	
	概算人件費	1,125	943	985	985	
	トータルコスト	7,774	10,562	8,418	24,404	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	13,200	
R3概算人件費	正規職員	0.23人		985千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		0千円		
	合計			985千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
		5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	消防庁舎大規模改修実施設計に向けた内部検討委員会を設置し、様々な意見や要望の聴取及び改修に係る財源等を検討した。今後も緊急的に必要な修繕と並行して大規模改修に向けた検討を継続する。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	消防広域化への取組み(消防救急無線広域化・共同化等整備事業)			所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員・近隣市町	目的	消防広域化の検討と消防共同指令センターの整備・運用を適切に行い連携強化を図る。			
事業概要	消防通信指令業務の高度化と行政財政の効率化を図ることを目的に、無線機器や指令システム等の整備及び維持管理を共同で行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0006 消防無線広域化・共同化等整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	12,470		13,630		14,951
	概算人件費	942		576		252
	トータルコスト	13,412		14,206		15,203
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 3 概算人件費	正規職員	0.04 人		252 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			252 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 広域化及び連携強化に関する会議・検討会の開催数（回）	3	6	5	5	3
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広域連携の推進	3.83	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	□	■	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	共同消防指令センターの円滑な運用と設備更新に係る会議開催及び隣接する町と人事交流に関する打合せを実施した。今後も更なる消防連携強化のために必要である。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			